

鹿児島県（鹿児島市）地域社会弓道指導者研修会

期 日 6月23日（土）・24日（日）
会 場 鹿児島県総合体育センター武道館弓道場
派遣講師 久保田清 範士八段、桑田秀子 範士八段

本研修会には県内の弓道指導者を中心に60人が参加した。教育関係では中学校教員が1人、高等学校教員が2人参加した。

1日目の午前中は受講生による矢渡と講師による講評が行われた。その後、「一手行射」による実技指導が行われた。

派遣講師による指導は手の内や「三重十文字」等の基本的な事項に重点が置かれていた。

久保田講師からは弓道場以外での練習方法として、切れた弦とゴムを組み合わせた器具の紹介があった。

2日目の午前は講師による模範射礼として「一つの射礼」の実演と実技研修が行われた。

午後は「弓道上達の近道」と題して、久保田講師による講義が行われ、所作の基本事項について教本や図解で解説し、近道はなく、基本通り正しい所作で数を掛けて練習することの大切さを説き、実演しながら所作の確認を行った。

午後の実技研修では桑田講師からは女性の襷捌きについて説明があり、男性参加者もその指導法を確認した。

最後に、久保田講師と桑田講師から講評があり、桑田講師からは中学校武道必修化指導書の活用についての説明があり、研修会の全日程が終了となった。

・参加者の声

○地域社会指導者研修会について

高等学校教員（部活動指導者）「研修会の内容が中学校武道必修化という目的に合っていたかは疑問である。学校教員の参加者をより増やす必要がある。」

○中学校武道必修化指導書について

中学校教員（部活動指導者）「指導の手順が示してあり、チェック項目があるため、指導に役立てることができると感じた。（部活動の指導で）活用したい。」

